

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	白田 弘	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3209		事務事業名称	狂犬病予防等対策事業					短縮コード	経常	3209	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		狂犬病予防法、狂犬病予防法施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
○昭和25年狂犬病予防法施行 ○平成12年度狂犬病予防法改正により、同法に規定する事務の一部について、その権限が千葉県より市町村に委譲された。 ○春の定期集合注射や窓口での登録等の申請受付事務が主な業務。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして						
狂犬病予防法施行後、犬の狂犬病発生件数は激減し、昭和32年以降狂犬病の発生は報告されていないが、海外では依然として発生しており、海外交流が活発化している現在、国内に狂犬病が流入する危険性が高く水際の予防が重要である。					大項目（節）	01	第1節保健・医療						
					中 項 目	01	1. 保健						
					小 項 目	02	(2) 疾病対策の推進						
					細 項 目	02	②感染症対策						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	飼い犬，犬の飼い主						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 1 定期集合注射：4月に市内各所に会場を設け、京葉獣医師会と共同で狂犬病予防注射を実施し、犬の登録及び狂犬病予防注射票を交付した。 2 犬の登録：登録申請のあった犬を原簿に登録し、犬の所有者に鑑札を交付した。 3 狂犬病予防注射済票の交付：狂犬病予防注射を受けた犬の所有者に注射済票を交付した。						
	※平成24年度に計画していること： 1 定期集合注射：4月に市内各所に会場を設け、京葉獣医師会と共同で狂犬病予防注射を実施し、犬の登録及び狂犬病予防注射票を交付する。 2 犬の登録：登録申請のあった犬を原簿に登録し、犬の所有者に鑑札を交付する。 3 狂犬病予防注射済票の交付：狂犬病予防注射を受けた犬の所有者に注射済票を交付する。						
意図 （何を狙っているのか）	狂犬病の発生予防及び発生時における蔓延の防止。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	飼い犬の推計頭数	頭	15,577	14,881	14,237	14,246
	指標2	登録犬頭数	頭	8,544	8,929	8,685	8,833
	指標3						
活動指標	指標1	登録犬頭数／飼い犬の推計頭数	%	57.4	60	61	62
	指標2	注射済票交付頭数/登録犬頭数	%	76.4	80	75	80
	指標3	定期集合注射実施頭数	頭	3,214	3,300	3,141	3,300
成果指標	指標1	犬の狂犬病発生件数	件	0	0	0	0
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3209	事務事業名称	狂犬病予防等対策事業			所属名	健康福祉課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円					
		その他	千円	1, 236	1, 222	887	1, 223	
	主な事業費の内訳			印刷製本費460, 152円 使用料及び賃借料129, 150円	印刷製本費567千円 使用料及び賃借料53千円	印刷製本費 421千円 使用料及び賃借料 52千円 保険料 73千円	印刷製本費 530千円 使用料及び賃借料 52千円 保険料 93千円	
人件費 (B)			千円	9, 394	9, 233. 4	9, 233. 4	9, 233. 4	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	10, 630	10, 455. 4	10, 120. 4	10, 456. 4	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		集合注射の実施により狂犬病発生の予防及び発生時における蔓延を予防することによって，第4次総合計画の体系で定める「疾病対策の推進」に結びつく。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		現在狂犬病の発生はないが，狂犬病予防注射を促進し狂犬病の発生を未然に防ぐ必要があるため，今後も業務を継続していく。					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		狂犬病予防法で鑑札の交付，狂犬病予防注射済票の交付等については，市町村長の事務とされている。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		事業内容に変更はなく現状のままでよい。					
			☐ 見直す必要がある							
☐ 評価対象外事項										
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		登録申請、狂犬病予防注射済票交付申請が集中する4月から6月の期間には臨時的任用職員を1名配置し，正規職員の事務負担の低減を図るなど効率性の向上に努めている。					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性はある							
			☒ 可能性がない							
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。			☐ 民間委託等						
				☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
				☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
				☐ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)	
				⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない									

コード	3209	事務事業名称	狂犬病予防等対策事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			現在，日本国内では狂犬病は発生していなが(国外で感染し国内で発病した事例はあり)，国外では狂犬病の発生が確認されており国内に狂犬病が持ち込まれた際への蔓延防止対策として，今後も事業の継続が必要である。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			八千代市内における世帯数増加に伴い，登録申請数が増加していくため，今後も事務負担の増加が予想される。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
○狂犬病の発生が40年以上無いことから、狂犬病予防注射の必要性に疑問を感じている人がある。 ○狂犬病への恐怖（発症した場合は、ほぼ100％死亡）や関心が薄れている。 ○法律により、犬の登録、狂犬病予防注射の接種が義務付けられていることを知らない人がある。 ○狂犬病を予防するため、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種義務の徹底を望む意見がある。									

所属長コメント	狂犬病予防注射の接種率向上を目指して市内全域で行っている定期集合注射を今後どう進めていくか，運用の効率化と集合注射会場数との調整が課題である。また，動物の飼い方の啓発も更に行っていく必要がある。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									